

令和2年度厚生労働科学研究費補助金
厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）
HPVワクチン接種後に生じた症状に関する診療体制の整備のための研究に関する研究
分担研究報告書

(課題名)HPVワクチン接種後の神経障害に関する病態解析と治療法確立と長期予後に関する研究

研究分担者 高嶋 博 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経内科・老年病学 教授

研究要旨

HPV ワクチン感染副反応を呈する患者の血液学的異常について、対象コントロール郡をいくつか追加して比較した。正常コントロールとして採取した正常若年者では血液学的異常の検出率は低く、上昇の程度も軽度であった。ワクチンを接種した健常な女性ではサイトカインの上昇はほとんど認められなかった。ワクチン関連神経症状の患者のような高い値はどのコントロール群にも認められなかった。ワクチン関連副反応患者においてはサブクリニカルな炎症が惹起されている頻度が高いことが示唆された。

A.研究目的

HPV ワクチン感染副反応を呈する患者の血液学的異常について昨年報告した。本年度は対象コントロール郡をいくつか追加して比較した。

B.研究方法

ワクチン関連患者とほぼ同じ年齢の健常者を募り、ワクチン接種女性、ワクチン未接種女性、ワクチン未接種男性の血清中サイトカインを測定し患者血清値と比較した。

(倫理面への配慮)

分担研究者は、臨床研究等に関わる各種ガイドラインを遵守し、臨床研究は倫理委員会の審査を経た上で実施する。特に介入研究にあたっては、最新の研究指針に基づき、倫理委員会や IRB の承認を得た上で、被験者からは適切なインフォームドコンセントを得るものとする。動物実験については、各施設の動物実験管理委員会や倫理委員会の審査を経て承認を得るものとする。

C.研究結果

正常コントロールとして採取した正常若年者では血液学的異常の検出率は低く、上昇の程度も軽度であった。ワクチンを接種した健常な女性ではサイトカインの上昇はほとんど認められなかった。ワクチン関連神経症状の患者のような高い値はどのコントロール群にも認められなかった。

D.考察

一部の健常者でも若干の上昇が認められることがあり、日常生活内で普通に合併する炎症病態を反映している可能性を考えた。一部のサイトカインでは男女差が認められた。

E.結論

ワクチン関連副反応患者においてはサブクリニカルな炎症が惹起されている頻度が高いことが示唆された。

F.研究発表

I 論文発表

1. Sakiyama Y, Matsuura E, Shigehisa A, Hamada Y, Dozono M, Nozuma S, Nakamura T, Higashi K, Hashiguchi A, Takahashi Y, Takashima H. Cryptococcus Meningitis Can Co-occur with Anti-NMDA Receptor Encephalitis. Intern Med. 2020 Sep 15;59(18):2301-2306. doi: 10.2169/internalmedicine.4629-20. Epub 2020 Jun 9. PMID: 32522922
2. Kodama D, Tanaka M, Matsuzaki T, Izumo K, Nakano N, Matsuura E, Saito M, Nagai M, Horiuchi M, Utsunomiya A, Takashima H, Kubota R, Izumo S. Inhibition of ABL1 tyrosine kinase reduces HTLV-1 proviral loads in peripheral blood mononuclear cells from patients with HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. PLoS Negl Trop Dis. 2020 Jul 15;14(7):e0008361. doi: 10.1371/journal.pntd.0008361. eCollection 2020 Jul. PMID: 32667912
3. Yamagishi Y, Kuwahara M, Suzuki H, Sonoo M, Kuwabara S, Yokota T, Nomura K, Chiba A, Kaji R, Kanda T, Kaida KI, Mutoh T, Yamasaki R,

Takashima H, Matsui M, Nishiyama K, Sobue G, Kusunoki S. Serum IgG anti-GD1a antibody and mEGOS predict outcome in Guillain-Barré syndrome. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2020 Dec;91(12):1339-1342. doi: 10.1136/jnnp-2020-3239

4. 松浦英治, 高嶋博. HIV 脳症. 新臨床内科学第 10 版, 医学書院, p.1337, 2020.
5. 松浦英治 高嶋博. HTLV-1 関連脊髄症. 新臨床内科学第 10 版, 医学書院, p.1338, 2020.

II 学会発表

1. 野妻智嗣、田代雄一、松浦英治、田中正和、久保田龍二、高嶋博. HTLV-1 関連脊髄症における疾患特異的 TCR レパトアの同定. 第 32 回 神経免疫学会学術集会. 金沢 Web 開催. 2020 年 10 月.
2. 松浦英治、田代雄一、野妻智嗣、安藤匡宏、平松有、崎山佑介、荒田仁、田中正和、久保

田龍二、高嶋博. HAM 患者に対する L-アルギニン内服治療の試み. 第 32 回 神経神経免疫学会学術集会. 金沢 Web 開催. 2020 年 10 月.

3. 松浦英治、荒田仁、東桂子、田中正和、安藤匡宏、平松有、野妻智嗣、田代雄一、崎山佑介、久保田龍二、高嶋博. HPV ワクチン関連疾患の臨床経過とワクチン接種後血液サイトカイン・自己抗体の検討. 第 32 回 神経神経免疫学会学術集会. 金沢 Web 開催. 2020 年 10 月.

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし
3. その他：なし